

図書館だより 2024.7月号



農芸高校図書館 2024.7.9 発行

まもなく夏休み。
時間があるこの時期には、読書で世界を広げよう！

- ・閉館日に本を返すときは入り口前のポストへ
- ・貸出冊数は制限なし。何冊でも借りられます
- ・7/1～8/16 に借りた本の返却期限は 9/2(月)始業式 まで
(マンガはなるべく早めに返してください。
他の人も利用できるように、ご協力をお願いします)

夏休み中の開館カレンダー(表示のない日は8:30-17:00開館)

月	火	水	木	金
15 海の日	16	17	18	19 終業式 (13時閉館)
22 9:30-16:00	23 24 25 26 蔵書点検のため閉館			
29	30	31	1	2
5	6	7	8	9
12 振替休日	13 学校休業日	14 学校休業日	15	16
19	20	21	22	23
26	27	28	29	30
2 始業式	3	4	5	6
閉館日				

<図書委員がおすすめ本を紹介します>

死刑にいたる病

櫛木理宇 著

社会を震撼させた連続殺人犯にえん罪証明を依頼された大学生が、その調査過程で予想を超えた真相にたどりつきます。どんどん真相が明らかになっていくストーリー展開がサイコーに面白い犯罪ミステリーです。

ぜひ読んでみてください！！

カラダ探し ウェルザード 著

ある日、明日香たち6人は明日香のクラスメイトである遥から「私のカラダを探して」と頼まれる。そしてその日の0時に学校に集められてカラダ探しを行う。部位は8つ。しかし赤い人に捕まらないようにしなければならない。もし捕まってしまうと殺される。そうすればカラダ探しを頼まれる日に戻る。カラダを見つける度に少しずつ変わる昨日、狂い出す仲間、そして呪い。この夏にピッタリなホラー小説。カラダ探しの真相とその結末は、ご自分で読んでみてください。

新しく入った本から

クスノキの女神

東野圭吾 著

もし未来を知ることができたら？ 不思議な力を持つクスノキをさまざまな人たちが訪れます。番人を務める主人公と、その叔母を中心に展開される人間模様も注目です。シリーズ第2弾。



告白撃

住野よる 著

“大人げない大人たち”の恋愛と友情。人気作家の最新作。



高校生活の強化書

西岡吉誠・萩原俊和 著

高校生の1時間を時給換算すると、4万円!? 3年間を有意義に過ごすためにできることは？ 時間の使い方から、進路の考え方、人間関係まで。役立つヒントを得られる1冊です。



はたらく土の虫

藤井佐織 著

好きな人はあまり多くない（かもしれない）ミミズやダニ類といった土壌生物たち。その生態や人間が受ける恩恵について、わかりやすく解説します。



悪いことはなぜ楽しいのか

戸谷洋志 著

悪いこと=やってはいけないこと、はなぜ起こされるのでしょうか？ あるいは、「良いこと」は楽しくない、のでしょうか？ 自分の言動を後悔した経験は誰もがあられるかもしれません。倫理学の先生と一緒に考えてみませんか。

給食の謎 日本人の食生活の礎を探る

松丸奨 著

小中学校時代は、学校での楽しみの一つだったという人も多いかもしれません。魅力的なメニューが毎日提供されるまでには、どのようなプロセスがあるのでしょうか？ 海外からも注目される学校給食の歴史と今を紹介します。

(書影データなし)



マンガで楽しく！国会議員という仕事

赤松健 著

マンガ家から政治の世界に飛び込んだ著者が、議員の働き方などについて解説します。間もなく投票権を得る高校生として、さらには数年後の納税者として知っておきたいこと。